

脳卒中急性期医療機関に関するアンケート(その1)(案)

【医療機関名】

	基準項目	基準内容	ア	イ	ウ	エ	オ	回答欄	
	医師 (病院の体制に着眼)	日本脳卒中学会、神経学会、脳神経外科学会、救急医学会いずれかの専門医または専ら脳卒中の診断及び治療の担当経験10年以上 脳卒中学会等のt-PA講習会受講歴	とも満たす医師が病院に1名以上いる(当直していなくてもオンコールで治療が可能であること。常勤・非常勤は問わない。)	とも満たす医師はいないが、 ↓ を満たし、かつ の講習を今後受講する予定の医師が病院に1名以上いる			相当程度の経験があり、かつ を満たす医師が病院に1名以上いる	相当程度の経験があり、かつ の講習を今後受講可能な医師が病院に1名以上いる	ア～エいずれかの体制もナシ
1'	医師 (実施担当医に着眼)	急性期脳卒中に対する十分な知識と経験を有する 脳卒中学会等のt-PA講習会受講	実施担当医がとも満たす	実施担当医がを満たし、の講習を今後受講する予定				"	
	脳外科	脳外科的処置が迅速に行える体制(必要に応じ速やかに脳外科専門医のコンサルテーションができること)	院内で体制が組める(オンコール可)	院内では組めないが予め約束している病院で対応可				"	
	放射線技師	配置	常時配置(365日24時間)	常時配置はされていないが、t-PA治療の適応の可能性のある患者受入時に対応でき、かつ治療後36時間の観察期間にも速やかに対応できる体制がある				"	
	臨床検査技師	配置	常時配置(365日24時間)					"	
	治療室	専用治療室(ICUやSCUまたはそれに準ずる設備と兼用でも可) 必要装置等(ア～エ) ア)救急蘇生装置、イ)除細動器、ウ)心電計、エ)呼吸循環監視装置	左記の設備あり					" "	
	院内設備	CT、MRI、脳血管造影等の必要な脳画像撮影及び診断が行える体制	左記の設備あり					"	
	薬剤師	配置	常時配置(365日24時間)	常時配置はされていないが、t-PA治療の適応の可能性のある患者受入時に対応でき、かつ治療後36時間の観察期間にも速やかに対応できる体制がある	オンコール体制			"	
8	脳血管疾患急性期リハ	脳血管疾患の急性期リハを行えるPTまたはOTが病院に常勤	左記の体制あり	左記の体制なし					